

令和2年度農業関係予算概算要求 決定！

本県JAグループおよび県農政連は、7月31日～8月1日にかけて令和2年度農畜産物対策に関する中央要請（農林水産副大臣や県選出国会議員等への要請）を実施いたしました。これらを踏まえ、8月30日に農水省は令和2年度農林水産予算の概算要求を決定し、財務省に対して今年度当初予算比18.2%増の大幅増となる2兆7,307億円の要求額を提出いたしました。

今回の概算要求は、「『スマート農業』の実現と強い農業のための基盤づくり」や「食の安全・消費者の信頼確保」など8つの柱立てに沿った要求となっており、本県JAグループが要請した主な事業について増額要求となっております。

今後、本県JAグループ・県農政連は、12月上旬～中旬の畜産、甘味資源作物対策の政策価格決定に合わせて、引き続き要請活動を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【令和2年度農畜産物対策に関する中央要請】



(8月1日 小里泰弘農林水産副大臣への要請)

【令和2年度農林水産概算要求の主な項目】

()内は令和元年度当初予算額

① 水田活用の直接支払交付金	3,215億円	(3,215億円)
② スマート農業総合推進対策事業	51億円	(5億円)
③ 強い農業・担い手づくり総合支援交付金	296億円	(230億円)
④ 持続的生産強化対策事業 (野菜・施設園芸、果樹、茶・薬用作物等、花きの支援対策)	233億円	(201億円)
⑤ 甘味資源作物生産支援対策	143億円	(108億円)
⑥ 畜産・酪農経営安定対策	(所要額)2,230億円	(2,224億円)
⑦ 「人・農地プラン」実質化と農地中間管理機構等による 担い手への農地集積・集約化の加速	201億円	(170億円)
⑧ 消費・安全対策交付金	50億円	(20億円)
⑨ 家畜衛生等総合対策	61億円	(52億円)
⑩ 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進	122億円	(104億円)

(「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に係る経費や「総合的なTPP等関連政策大綱」を踏まえた農林水産分野における経費については、予算編成過程で検討。)

【本県の政策提案が概算要求に反映された主な内容】

()内は令和元年度当初予算額

〔畜産〕

- 家畜衛生等総合対策 全体額：6,086(5,198)百万円
 - ・家畜の伝染性疾患の海外からの侵入防止 1,124(422)百万円
(検疫探知犬の増頭など、水際での防疫措置の徹底を図る)
- 消費・安全対策交付金 全体額：4,993(2,017)百万円
 - ・病虫害・伝染性疾患の発生予防・蔓延防止
(豚コレラ発生地域等での農場への疾病侵入防止対策およびツマジロクサヨトウ等の重要病虫害のまん延防止策等を支援)

※ 令和元年度は、養豚農場の防護柵設置はALIC事業の「アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業(約60億円)」で支援。国に加えて、鹿児島県も独自助成を決定。

〔甘味資源作物〕

- 甘味資源作物対策生産支援対策 全体額：14,263(10,795)百万円
 - ・甘味資源作物生産性向上支援事業 2,193(-)百万円
(さとうきびや甘しょの生産振興に必要な農業機械の導入や土づくり、新品種への転換、生分解性マルチの導入、病害対策等への取組を支援)

※ これまで補正予算で措置されていたものを当初予算で計上するよう農水省から財務省へ概算要求。

〔共通事項〕

- 農業人材強化総合支援事業 全体額：23,753(21,003)百万円
 - ・農業次世代人材投資事業 16,477(15,470)百万円
(次世代を担う農業者となることを志向する50歳未満のものに対し、収納準備段階や経営開始時の経営確立を支援)

※なお、今回は農水省から財務省へ概算要求された内容であり、事業の措置や予算が確定したわけではありません。今後、財務省との折衝を通じて、本年12月末頃来年度予算案が閣議決定されていく見通しです。概算要求に関する詳細なデータは、下記の農水省HPに記載されておりますので、ご参照ください。
(URL:<http://www.maff.go.jp/j/budget/2019/index.html>)



射手座
11/23
～ 12/21

【全体運】 周りとの調和をモットーに過ごしたい月。また、物質面より精神的なものに重きを置くことで、うれしい変化が
【健康運】 スポーツジムなどで体を鍛えようとラッキー
【幸運を呼ぶ食べ物】 のり